



市議会議員
上田由美子
☎ 68-2106
Fax 68-2146



参議院議員
井上さとし



前衆院議員
藤野保史

2023年原水爆禁止国民平和一大行進

一歩でも、世界平和に通じる一歩

2023年原水爆禁止国民平和一大行進が6月9日、10日、小矢部市内で核兵器禁止を訴えました。

9日、広島まで歩き続ける「通し行進者」山内金久さんを囲んで、小矢部市民も、南砺市安居の「コミュニティ菅ノ山」中継点から2名、「藪波スポーツセンター」中継点からも別の3名がリレーチームに参加しました。沿道の農作業する市民や、自宅前で見守る高齢者などと交歓しました。

石動市街地のアラキ薬局前交差点で、リレートークです。上田由美子市議も加わって「日本政府も核兵器禁止条約に参加してください」と訴えました。



石川県行進団が出発、横断幕を持つ泉行真氏(左)、山内金久氏(中)＝10日、倶利伽羅

市役所玄関では、桜井市長代理で総務部次長、義浦議長代理で議会事務局長などが出迎えて、行進団を激励し、市長、議長から「核兵器禁止を求めるペナント」を託しました。小矢部市実行委員会の堀内喜亨さんが、実現への市当局の心遣いに感謝の言葉を述べ、また、平和行進が65年前、日本山妙法寺の僧侶・西本あつしさんがたった一人で歩き始めたことが始まりであり、それが世界に広がって、ついに核兵器禁止条約発効にまでたどり着いた、と紹介しました。



石動駅前商店街で訴える上田市議(左から3人目)、山内金久さん(左端)

人間の尊厳を奪い去る原爆

通し行進者の山内さんは、「小矢部市民の核兵器禁止の思いを8月の世界大会に届けて、核兵器保有国が禁止条約に参加するよう願っている」と挨拶しました。小矢部平和委員会の八尾三紀

夫さんが、昨年末に亡くなられた小矢部市在住の被爆者森田正三さんの、長崎での被爆体験記の数節を読み上げ、当時の情景を生々しく思い起こさせました。

戦争の準備より、外交交渉の努力を

10日10時から、小矢部市実行委員会は高校生の参加を歓迎しつつ、市役所から、商工会館前まで「今すぐ核兵器の廃絶を」「戦争ではなく平和の準備を」の2本の横断幕を掲げて行進。商工会館前交差点では新日本婦人の会や農民連の方が、空襲の悲惨さや戦争による食糧難、戦

争よりも外交交渉を、などと訴えました。その後、車に分乗して県境を越え、石川県行進団と合流、引き継ぎ式に臨みました。石川県行進団の先頭には山内金久さん、石川県内の通し行進者で日本山妙法寺の泉行真住職が立ち、元気に出発しました。



県に予算要望(3)

危険な金屋本江地内の県道拡幅を

(共産党) 県道砺波小矢部線の拡幅を、国の交付金を活用して、いっそう強

力に促進すること。特に危険個所の多い金屋本江地内を促進すること。

(県) 県道砺波小矢部線では、野寺交差点で改良工事で、今年度は道路改良を実施する。砺波市側の西中地内では、県道福光福岡線との交差点改良に取り組んでおり、今現在は舗装工事を施工

中である。今年度は消雪工事を進める。

残る西中から金屋本江までの区間については、実施中の事業の進捗状況や周辺の交通量の推移、地域開発の動向を踏まえながら、実施について検討してい